福光地域 会議録

件名	エンジョイふくみつ（福光地域提言実現検討組織）による第９回会議		
日時	令和４年１０月３日（月）19:00～21:00	場　所	福光会館（旧ベル）２階サークル室２
出席者	検討組織メンバー（現地参加）10 名、（オンライン）1 名、事務局（政策推進課）3 名		
内容	①アンケートの設問について、②各部会からの進捗状況報告・協議、③その他		

概要

◆①アンケートの設問について（資料１）
（〇…代表発言、●…メンバー発言、→事務局発言）

（事務局から資料の説明）
→・広報部会から２つの設問の追加があったが、それを１つにまとめた。
　・１つにまとめて良いか、最大回答数が３つで妥当か。
●Q4 の選択肢の農村と中山間とはどうやって区別するのか？
●農村だけなら分かりやすい。「中山間」が言葉として浸透されているかどうか。
→農村と中山間を農村にまとめる。
●Q10 のイベント等の名称の浸透度を考えると、イベントの開催時期を記載してはどうか。親子ふれあいフェスは８月、ミズベリング in 福光千本桜プロジェクトは４月と７月だった。更に、「今年の」を追加されると分かりやすい。ふくみっつさんの清掃活動も載せるとよい。
〇Q10 の設問を、「知っている知らない」と「参加したことがあるか」に分けてはどうか。
●清掃活動は、ふくみっつさんだけでなく他団体も実施されているので、「清掃活動」とだけされると良い。
●福光まちなか文化祭でもイベントに関する内容のアンケートを行う予定で、重なる可能性がある。回答者には粗品を進呈する予定だそうで、エンジョイふくみつのアンケートは工夫しないと答えてもらえない。
●それなら、QR コードのみの内容で、全戸配布してはどうか？
→全戸配布自体は問題ないが、その場合は、市の印刷機を使用した白黒印刷になる。
広報部会からの設問についてはどうか。最大回答数を３つにしているが、この数はどうか。
●全てに回答されても良いだろう。
→複数回答可に修正する。
●Q8 の選択肢の「特になし」を最後に移動してはどうか。
●「何でもするよ」という回答もあるかもしれない。
●「特になし」は不要かと。

◆②各部会からの進捗状況報告・協議
（〇…部会代表発言、●…メンバー発言、→事務局発言）

<u>①事業系部会</u>
〇（資料に基づいて説明）
・農泊体験の実現に向けて、なべちゃん農場、木村農園にヒアリングした。なべちゃん農場は、来年以降、人数限定で収穫祭の折に宿泊体験をやっても良いとのこと。木村農園は梨と干し柿。受け入れ２人までが限界。指導に手間がかかるため、労働の対価を宿泊費に充てるのは現実的でない。事業化に向けて、「なんとのね」グループのメンバーの協力の基、雪下人参の収穫体験を実証実験としてやってみてはどうかとの議論が盛り上がった。
・セルフリノベーション塾の経過について、これまでに見学した空き家３軒を物件候補としたい。飲食の方がにぎわいにもつながりやすいと考えている。
●農家さんと宿泊先をつなぐ事務局的な存在も必要で、誰が事業主体になるのかも議論していた。
〇事務局や運営などについて、皆さんに相談したい。
●市としては、エンジョイふくみつがやるというイメージだろうか。
→エンジョイふくみつでそのような合意形成が図れればよい。
福光のにぎわいづくりについては、住民主体の取り組みが大前提。エンジョイふくみつで実行していけることが理想。エンジョイふくみつの趣旨に賛同してもらえる民間事業者につなぐ方法もあるかもしれないが、丸投げだと意味がない。
●実証実験的で確認できれば、宿泊事業者や旅行会社との調整が必要になる。実施には、広報部会の力が必要だとも話していた。地元在住者向けに日帰りコースなどもあれば、

	子どもの体験活動にも出来る。小矢部川とつなげていけば、認知度と評価を上げられるし、地域内での循環になるだろう。 ●宿泊まで広げるのは負担が大きい。雪遊びと雪下人参収穫体験ではどうか。 ●「なんとのね」グループのメンバーに実現の可能性を確認したい。もし、実現可能となった場合、受け入れの事務手続きが煩雑。 ●受付部分なら自社の事務所で対応可能。 〇雪下人参の農泊体験の実証実験をもう少し部会で詰めていきたい。 ●宿泊はなくても良いのでは。何人なら対応可能か決めてもらえると良い。 〇内容が決まれば、広報部会で周知してもらえるのか？ ●媒体はウェブになるだろう。用いる媒体はターゲットにもよる。地元の子どもたちに参加してもらいたい。 →持続可能な取り組みとしてほしい。 ●11 月くらいから発信できると良い。そのためにも、①受け入れ可能かどうかの確認、②対応人数の確認などを予め明確にしておく必要がある。 〇宿泊できる先の紹介と日帰りコースの紹介との両方をすれば良い。 ●セルフリノベーション塾は、どういう方向性で関わっていくのか。 〇現時点では、部会メンバーの１人が中心に動いてもらうことになるだろう。この会としての関わりはこの会議で相談したかった。具体的になった方が、皆さんにもイメージしてもらいやすいだろう。セルフリノベーション塾は、福光に関わる人を育てる事業であると分かってもらえると良いかと。私は、この企画をエンジョイふくみつの根幹事業と捉えている。 ●本来の、小矢部川を中心としたまちづくりとは離れていくような気がする。 ●この会では現在、小矢部川を中心としたにぎわいづくりの議論をしているので、エンジョイふくみつの根幹事業と言われると違和感がある。事業の１つであれば気にならない。 ●私はテーマに沿っていると思うので、進めたら良いと思う。 <u>②イベント部会</u> 〇11 月 6 日のふくみっつさんの清掃活動に関われたらと考えている。参加費 500 円、なんと木くばりプロジェクトによる講話の後、清掃活動をする予定。 ●小矢部川下流の高岡市での活動との連携も検討してほしい。 <u>③広報部会</u> 〇サブリーダーも設置した。皆さんの情報の入手先を確認したく、アンケートに盛り込んでもらうことにした。 →本日の皆さんからの意見を踏まえてアンケートを修正し、再提示したい。 〇次回会議は、10 月 17 日(月)から 21 日(金)の間で調整したい。 （以上） ◆次回会議 日時…令和４年１０月１７日（月）19：00～21：00 場所…福光会館（旧ベル）２階サークル室２ 内容…アンケートの内容検討、部会からの進捗状況報告　ほか

第９回　エンジョイふくみつ

日時：令和４年10月３日（月）
午後７時00分～
場所：福光会館２階　サークル室２

あいさつ

協議事項

１．アンケートの設問について　資料１

２．各部会からの進捗状況報告・協議
(1) 事業系部会
(2) イベント部会
(3) 広報部会

３．その他

小矢部川公園　活用アンケート

資料１

福光地域の賑わいづくりに向けて、地元の有志で「エンジョイふくみつ」を結成し、小矢部川公園を中心としたイベントや事業を企画しています。

このアンケートの所要時間は約５分です。皆さんからいただいた意見を参考に、賑わいの企画に反映することを目的としていますので是非、ご協力をお願いします。

調査主体　エンジョイふくみつ
連絡先　　南砺市政策推進課（電話 0763-23-2052）

【あなたのことについて】※いずれか一つ選択（チェック）してください。

Ｑ１　性別を教えてください。　　□男性　　□女性　　□無回答

Ｑ２　職業を教えてください。
□会社員　□自営業（農業等）　□主婦（主夫）　□公務員　□学生
□無職　□その他（　　）

Ｑ３　年齢を教えてください。
□１０代以下　□２０代　□３０代　□４０代　□５０代　□６０代　□７０代以上

Ｑ４　居住地域を教えてください。
□福光 市街地　□福光 農村地域　□福光　中山間地域
□南砺市内（福光地域外）　□富山県内（南砺市外）　□富山県外　□その他（　　）

「エンジョイふくみつ」では、小矢部川公園を中心としたイベントなどで盛り上げ、福光地域全体に賑わいを広げていきたいと考えていますが、どのような内容のイベントよいか？どのような公園になればよいか？などご意見をお願いします。

【イベントについて】※複数回答可

Ｑ５　小矢部川公園でどのようなイベントを開催したら参加されますか？
□スポーツ・健康系　［マラソン、ヨガ、サイクリングなど］
□アウトドア系　［キャンプ、ＢＢＱ、釣り（魚のつかみ取り）など］
□学習系　［ホタル育成、川の歴史、ワークショップなど］
□体験系　［山羊放牧、ドッグラン、手作りいかだ、糸電話など］
□店舗系　［カフェ、屋台、マルシェ、芝居小屋など］
□芸術系　［プロジェクションマッピング、アートインスタレーション[1]など］
□その他（　　）

Ｑ６　Ｑ５についてどれくらいの頻度で開催されるとよいと思いますか？
□週１回程度　□土日、休日　□月１回程度　□年４回程度

[1] アートインスタレーションとは、アートによって成り立つ空間作品です。

Ｑ７　イベントに参加する際、公園にあれば良いと思うものがあれば教えてください。

□駐車場　□トイレ　□スロープ　□ステージ　□ベンチ　□川床

□遊具（インクルーシブ[2]、健康）　□Ｗｉｆｉ　□その他（　　）

Ｑ８　ご自身がイベント等で協力いただける場合は、その内容を教えてください。

□特になし　□企画・運営　□出店　□清掃活動

□その他（　　）

Ｑ９　Ｑ８で「特になし」以外を選択された方については、差し支えがなければお名前と連絡先を教えてください。（いただいた個人情報は目的以外には使用しません。）

お　名　前：＿＿＿＿＿＿＿＿　連絡先（メール）：＿＿＿＿＿＿＿＿

Q10　次のイベントをご存じですか？又は参加されたことがありますか？

□ミズベリング　□福光千本桜プロジェクト　□かわらフェス　□親子ふれあいフェス

広報部会より

Q11 （福光地域の）イベントやお店に関する情報を、どこから入手していますか？（3つまで選んでください。）

□家族や親類　□友人、近所の方　□所属グループやサークルなど　□他のイベント

□地域掲示板　□お店　□市役所　□学校や職場　□その他（　　）

Q12 Q11 の情報を何から入手していますか？（3つまで選んでください。）

□テレビ、ラジオ　□ホームページ　□SNS　□広報なんと　□チラシ・ポスター

□新聞・雑誌　□その他

Q●　イベントやお店に関する情報を、どのように入手していますか？（3つまで選んでください。）

□家族や知人など　□他のイベント　□地域掲示板　□お店　□市役所（広報誌）

□学校や職場　□テレビやラジオ　□ホームページ　□SNS　□チラシ・ポスター

□新聞や雑誌（情報誌）　□その他（　　）

Ｑ●　このほか小矢部川公園に関してご意見があれば記載してください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

[2] インクルーシブ遊具とは、障がいの有無に関わらず全ての人が楽しめる遊具です。

農業体験についての聞き取りと事業案について

2022,9,27

エンジョイふくみつ事業系部会資料

■なべちゃん農場

・田んぼの学校

4月～3月　月1回の体験、座学講座などを開催　日帰り体験

参加費1組6万円　2022年は10組参加(20数名ほど)

最後に収穫したお米15㎏もらえる。

宿泊体験が可能であれば、人数限定で年に1,2回開催しても良い。

・2021年度は、市から依頼され、農業体験者を受け入れていた。(半年で延べ200人)

今年はそのような受け入れはない。(昨年は暮らしません課の移住希望者に対応していたのではないか)

・農泊の現状

1,2泊の宿泊は、太美の体験ハウスを利用…安いが不便。(コンビニなどもない)

1週間ほど滞在する人は、ゲストハウス利用もするが、転々としている。

＊街中の空き家をリノベ(流し、トイレ、シャワー室)して、1泊1,000円で運営したとしても採算が合わない。(年200人受け入れて20万円の売上。)既存の宿泊施設を利用するのが現実的と思われる。

■木村農園(南砺市大西)

・梨と干し柿

4月上旬～下旬　梨の枝誘引作業(梨の枝を針金に括り付ける作業)

5月　摘果作業(実を間引く作業)

7月　三社柿の摘果作業

8～9月　梨の収穫作業

10月上旬～下旬　柿の収穫作業

10月～　柿の皮むき、糸結び作業

・受け入れの現状

14歳の挑戦を受け入れている。

受け入れは2人まで可能。それ以上は目が行き届かなくなるので困る。

バイト料を払えるほどに仕事ができるには、指導に手間暇がかかるため、バイト料を払ってまで受け入れることまではできない。だから、労働の対価を宿泊費に当てるのは現実的ではない。

■街と里を結びつける農泊事業(案)
自然の中での農業体験と、商店街や夜の飲食を楽しめる。宿泊することで小矢部川散歩もできる。街と里を持つ福光の魅力を体感してもらい、農業観光客と移住者増加につなげる。

① ふくみつ農泊体験ツアーの販売
・街中の既存ゲストハウス（ふくみっつ、絲、ツバキハウス）を利用した農泊体験の PR
・一人当たり、8,500 円で宿泊付き農業体験を販売。
(ゲストハウスに 4,500 円、農家に 3,500 円、保険料 500 円)
＊農家に支払う 3,500 円は講師料として市の助成が可能かも。その場合は、1 人 5,000 円で募集。)
・試算
　年間 200 名 300 泊(100 名が 1 泊、100 名が 2 泊)　一月当たり 16～20 名の受け入れ
A.ゲストハウス利用費　　1,350,000 円(300 泊分売上)
B.農業体験参加費(講師料)　750,000 円(200 人分売上)(補助金の可能性)
C.朝と夜の飲食(経済効果：朝 1,000 円　夜 3,000 円で試算)
　1 泊の人　4,000 円×100＝400,000 円
　2 泊の人　8,000 円×100＝800,000 円　(飲食合計 120 万円)…ABC 合計 330 万円
・プラス効果　農泊体験者からの移住希望者・農業従事者。お土産購入、公共・民間交通の利用。

■事業実施にあたって(①②ともに共通)
・受け入れ農家と宿泊施設の募集と選定
・体験事業の広告宣伝(季節ごとのメニュー)
・農泊希望者の受付対応
・受け入れ時の対応

■受け入れ農家の候補
・なべちゃん農場(ハニー＆コットン)
・なんとのねグループ…日鷲農場(城端)、栗土舎(福光)、杉苗屋源四郎農場(福野)、神田清(城端)
・木村農園

■素泊まり価格
・ふくみっつ　1 泊 3,000 円　シーツ代 1,500 円/人
・ゲストハウス絲　1 泊 4,200 円
・つばきハウス　10,000 円(4 人まで)　5 人目以降は 2,500 円/人

■事業化に向けた実証実験案
・雪下人参の収穫体験(2 月までに)

試算②

年間100名100泊(100名が1泊)　一月当たり8～10名の受け入れ

A.ゲストハウス利用費　　450,000円(100泊分売上)

B.農業体験参加費(講師料)　350,000円(100人分売上)(補助金の可能性)

C.朝と夜の飲食(経済効果：朝1,000円　夜3,000円で試算)

1泊の人　4,000円×100＝400,000円　　…ABC合計120万円

試算③

年間100名200泊(50名が1泊、50名が2泊)　一月当たり8～10名の受け入れ

A.ゲストハウス利用費　　900,000円(200泊分売上)

B.農業体験参加費(講師料)　350,000円(100人分売上)(補助金の可能性)

C.朝と夜の飲食(経済効果：朝1,000円　夜3,000円で試算)

1泊の人　4,000円×50＝200,000円

2泊の人　8,000円×50＝400,000円　(飲食合計60万円)…ABC合計185万円